

# 平成19年度 教育委員会行政方針

## 人間尊重教育の推進

今、わが国の教育は、家庭における児童虐待等、家庭や地域社会の教育力の著しい低下や、学校におけるいじめ、不登校など、様々な課題を抱えています。とりわけ、昨年からの子どものいじめによる自殺の問題は、学校関係者のみならず、家族や家庭、地域社会のありようまで問われる深刻な社会問題となっています。

市民一人ひとりが個性として尊重され生き、さらに個性の力が結びあえるよう、共に生き、支えあえる社会づくりを一層進めます。こ

未来を担う子どもたちに、

## 家庭・地域と共につくって育てる教育の推進

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣や他人に対する思いやり、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につけるうえで最も重要な役割を果たすものです。家庭教育振興市民会

父親を対象とする家庭教育講座、公民館での親子を対象とした幼児教育講座など、学習機会と情報の提供に努めます。

子育て支援では、子ども健全育成のため、青少年愛護協議会や子ども会など地域団体と連携して青少年ふ



宮水ジュニア(囲碁)

## 子どもたちが夢をもち、自分の道を選び、切り拓く力を育てる

学校教育では、一人ひとりの子どもが夢と希望をもって自分の道を選び、切り拓く力を育てることを目指します。

知識の活用能力を高めるため、教師の授業力を高めていきます。中核市移行に向け、教員研修のあり方について研究を進めるとともに、

活を実践できるよう食育の充実にも取り組めます。



スポーツ選手ふれあい指導事業

「ふれあいキャンパス」など自然体験や生活体験事業を推進します。

子どもたちが、安全で快適な学校生活を送れるよう、施設や環境の整備充実を図ります。

## 教育環境の整備

子どもたちが、安全で快適な学校生活を送れるよう、施設や環境の整備充実を図ります。

教室の確保に努めます。教育環境の改善をめざすため、西宮高校と西宮東高校の空調設備の拡充を行うとともに、

## 市民一人ひとりの生涯学習の支援

このような変化の時代にあって、子どもたちが自分自身を大切に自己実現を図るには、自ら考えその目標に挑戦しようとする

西宮の教育は、長年にわたる市民の皆様の文教住宅都市西宮に対する厚い信頼と支えにより発展してきました。

人々が、自己の人格を磨き、生涯にわたって学習することができ、その成果を適切に生かすことのできるよう努めます。

公民館では、人権・福祉・情報・環境など現代的課題の学習活動を推進し、地域を支える人づくり事業やボランティア育成事業などに取り組めます。

最後に、西宮の教育に対する市民の揺るぎない信頼が得られるよう、人材育成に力を注ぐとともに、事務局職員を半年間、文部科学省に研修生として派遣し、幅広い識見を身に付けさせ、本市教育行政の充実発展に資するよう努めます。

新年度の教育予算は、173億5830万7000円です。常に市民の目線に立つた効率的な行政運営に努め、教育行政の推進に努力します。

学校教育では、子どもたちが確かな学力、豊かな心、すこやかな体の、知・徳・体バランスの取れた「生きる力」をはぐくめるよう努めます。そのため、学力向上



各スポーツクラブ21では地区運動会などを開催しています

図書館では、利用者サービスの向上のため、各図書

文化財の保護については、昨年に引き続き、神呪寺の

最後に、西宮の教育に対する市民の揺るぎない信頼が得られるよう、人材育成に力を注ぐとともに、事務局職員を半年間、文部科学省に研修生として派遣し、幅広い識見を身に付けさせ、本市教育行政の充実発展に資するよう努めます。

新年度の教育予算は、173億5830万7000円です。常に市民の目線に立つた効率的な行政運営に努め、教育行政の推進に努力します。

